

仮想アース Crystal E の導入(7)(HP 収載)

ーアースラインの再構成(1)ー

1. 始めに

前報(6)に引き続き、アースラインの再構成を実施します。

2. アースラインの再構成と試聴方法

前報(2)より前報(6)までの結果から、アースラインの構成に関する整理をしてみたいと思います。

第1グループ

フォノイコライザーの ZANDEN Model 120 を共有する関係から次の通りとします。

LINN LP-12

ThorensTD124

ZANDEN Model 120

第2グループ

Garad401 を共有するグループですが、フォノイコライザーを切り替えるサブグループに分け、要時繋ぎ替えを行います。

サブグループ A

Garad401

47 研 4718

サブグループ B

Garad401

My Sonic Stage1030

Maranz7 タイププリ

第3グループ

従来の RE-9 を専用とします。前報(6)の結果から、ここにも Crystal E を使いたいところですが、当面 RE-9 への接続にすることとします。

Brooklyn DAC+

第1グループには今回購入した Crystal E を充当し、第3グループは従来の RE-9 を充当することとし、第2グループ用に Crystal E を追加購入することとしました。同時に光城精工の Clone2 アース専用ケーブルも購入しました。これでアース専用ケーブルは、Crystal E 付属の Y-Y 端子ケーブル 2 本、Crystal E 付属の RCA プラグ M4Y 端子ケーブル 2 本および Clone2 アース専用ケーブル 1 本となります。

なお、付属ケーブルと Clone2 ケーブルは次のように使用します。

Y-Y 端子ケーブル 1 ThoresnTD124 アース延長用

Y-Y 端子ケーブル 2 Brooklyn DAC+アース接続用

RCA プラグ M4Y 端子ケーブル 1 Maranz7 タイププリ接続用

RCA プラグ M4Y 端子ケーブル 2 予備

Clone2 ケーブル (光城精工) ZANDEN Model 120 アース接続用

上記のように再構成し、結果を確認していきます。



Y-Y 端子ケーブル RCA プラグ M4Y 端子ケーブル Clone2 ケーブル

3. アースラインの再構成の試聴結果

上記の再構成を実施した後、その効果を前報(2)から前報(6)の効果を再確認していきました。

第1グループでは、LINN LP-12 と ThorensTD124 がともに電源を ON にすることはないので、アースラインの共有は問題なさそうです。ZANDEN Model 120 のアースケーブルは、これまでの Western の撚り線から新たに購入した光城精工の Clone2 アース専用ケーブルに替えました。

ZANDEN Model 120 の Western から Clone2 ケーブルにアースケーブルが代わりましたので、改めて前報(2)や前報(3)の結果をトレースしました。

前報(2)と前報(3)同様、24 の奇想曲、選帝侯のソナタ、ワルキューレを LINN LP-12 と ThorensTD124 で聴きましたが、アースケーブルが代わっただけで、ともに予想外の音の変化がありました。

24 の奇想曲は音に膨らみがでて間接音も豊かになり、選帝侯のソナタは録音環境の響きが過剰なくらいになります。ワルキューレでは、録音環境の間接音が豊かになり、ステージ感が向上して迫力が増します。

第2グループでは、サブグループAの47研4718とサブグループBのMarantz7タイププリCrystal Eを共有することになりましたが、電源タップの空きがないことから、電源の差し替えを行いますので、アースラインの共有は問題なさそうです。また、サブグループBのMy Sonic Stage1030はステップアップトランスですので、サブグループAの方に影響することが少ないと思われます。今回の整理において前報(4)および前報(5)から特に変わったところはありませんので音質の確認はいたしません。

第3グループのBrooklyn DAC+にもCrystal Eを使いたいところですが、当面RE-9を専用とすることとしますが、第2グループのCrystal Eに繋ぎ替えるようにもしておきます。なお、アースの延長ケーブルは、これまでのWesternの単線から追加購入のCrystal E付属のY-Y端子ケーブルに替えました。そこで、改めて前報(6)の結果を再確認しました。

前報(6)と同様、BPODCHでは、ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルによるマーラーの交響曲第3番とキーシン(ピアノ)とヤンソンス指揮ベルリンフィルによるリストのピアノ協奏曲第1番を再生し、fidata HFAS1-S10収納のハイレゾ音源は、シュタルケルのバッハのチェロ組曲の11.2MHzDSD音源とクーベリック指揮ベルリンフィルのドボルザークの交響曲8番のMQA音源を再生しました。

アースケーブルの変更の効果を見るために、第2グループの追加のCrystal Eを第2グループから切り離してWesternの単線に繋いだ条件からCrystal E付属のY-Y端子ケーブルに替えて試聴しました。

Westernの単線に繋いだ条件では、前報(6)のとおりCrystal Eの効果が出ています。Crystal E付属のY-Y端子ケーブルに替えますと、前報(6)で述べたCrystal Eの効果がさらに増強されたような音になります。BPODCHは、一段とホール全体の響きが豊かになると同時に、その精度が上がった印象です。11.2MHzDSD音源とMQA音源では、これらのハイレゾ音源のハイレゾらしさが増強され、緻密な表現になります。この条件の下に再びLINN LP-12におけるアナログ再生を実施します。即ち、ZANDEN Model 120からBrooklyn DAC+にはLine入力していますので、Brooklyn DAC+はラインアンプのようなかたちをとっています。つまりLINN LP-12におけるアナログ再生系の前段とラインアンプに別個のCrystal Eをそれぞれ今回追加購入したアースケーブルを使用したという条件になります。このような条件では、ZANDEN Model 120にClone2を繋いだ時のような大きな変化ではありませんが、若干音が整理されて余分な響きがなくなり、特に選帝侯のソナタではピアノが引き締まっています。

以上から、第2グループのGarad401の再生を行わない、第1グループのアナログ再生と第3グループのデジタル再生では、第2グループからCrystal Eを切り離してBrooklyn DAC+に使用することにします。

4. まとめ

前報(2)より前報(6)までの結果から、アースラインの構成に関する整理を行い、Crystal Eを追加購入し、アースラインの再構成が完了しました。これまで仮想アースを使用していなかったり、RE-9へのタコ足配線をしていた状況から整理でき、アナログ再生とデジタル再生ともにCrystal Eの効果を楽しむことができました。

また、アースケーブルの変更は、OTOTENのデモやステレオ誌7月号の記事のように音質に影響することが確認できました。この件についてはさらに検討を要する課題と思われます。

以上